

— 令和8年度 — 東かがわクラブがめざす活動4類型

I型 平日は各学校で部活動を行い、休日は地域で活動する型

平日	休日 (原則土曜日)	R6現在の活動例
従来の学校部活動	東かがわクラブ活動	吹奏楽

II型 各学校に部があるが、部員数や指導者の関係で平日から合同で活動する型

平日	休日 (原則土曜日)	R6現在の活動例
合同部活動	東かがわクラブ活動	軟式野球 バレーボール 剣道 バスケットボール

III型 各学校に部がないので、市が認めた学校の部を拠点として活動する型

平日	休日 (原則土曜日)	R6現在の活動例
拠点校部活動	東かがわクラブ活動	サッカー

IV型 平日は各学校または拠点校での部活動を行い、休日は活動せず、随時イベント等を実施する型

平日	休日 (原則土曜日)	R6現在の活動例
従来の学校部活動 拠点校部活動	活動なし (随時イベント開催等)	美術

※II型・III型・IV型は活動場所への生徒の移動が必要となり、平日の活動時間確保が課題です。東かがわ市では小中学校の日課・時程の工夫やスクールバスの有効利用で支援します。



【拠点校部活動】



【合同部活動】

東かがわクラブの活動に参加している生徒・指導員の声

仲間が増えて楽しい!

他校の生徒との合同練習だと気軽にできない不安が少しある

他の学校の子と一緒に活動すると、学び合うことで気づきがあり、スキルが上がる

専用種目の指導員がいて、その先生の教え方が上手でよくわかるので、うまくなれるし、楽しい!

バス移動とかの関係で、冬の平日練習時間が短くなるのが心配

できれば、大会やコンクールは自分たちの学校で出場したい

ひとつの学校だと人数が少なくて、できることが限られますが、市全体で活動すると練習の内容が広がり、ともにやろうという気持ちになります

バスは乗り心地もよいし、とても快適に利用させてもらっています

自分は専門外の種目担当ですが、他に専門的な指導をできる人がいて、指導員同士で役割分担したり、カバーし合えるのがとてもよいと思います

合同活動で生徒たちの意欲が高まり、それが学校生活にもよい形で現れています

移動手段でバスが利用できるのは、他市町からうらやましがられています

将来的に持続できる体制づくりが大切ですね

地域クラブ活動の中心となって関わり、計画や準備してもらっているコーディネーターの負担が大きく、たいへんなのが気になります

冬の活動時間の確保が課題です

東かがわ市の部活動地域展開

- どうする部活動!はじまる地域クラブ活動! -



なぜ必要なの? 3つの要因

生徒数・部員数が減って、大会出場や十分な活動ができない

学校の部活動数が限られていて、好きな活動を選べない

専門種目を担当できる先生がいないので、十分な指導が受けられない

令和6年12月 東かがわ市教育委員会教育総務課内東かがわクラブ事務局
Tel 0879-(26)-1237
※リーフレットに記載されている内容は、国の動向などにより変更する場合があります

公益財団法人スポーツ安全協会
For Fun Sports & Cultural Activities
当事業は スポーツ安全協会 スポーツ普及奨励助成事業の助成を受けて実施しています

東かがわクラブとは？

国の方針を受けた「休日における学校部活動の地域移行」に伴い、全国各地において市町が支援する団体・総合型地域スポーツクラブ・文化芸術団体が運営するクラブ・民間クラブチームなど、様々な地域クラブ組織が設立されています。

東かがわクラブもそのひとつであり、東かがわ市立中学校部活動の受け皿として市教育委員会が設置した組織です。学校と地域・家庭の協働で子どもたちを育てるといった視点を大切に、地域、関係団体及び大学等と連携して部活動の新しい仕組みを展開・推進します。

また、規則や要綱を定めてコンプライアンスの徹底に努め、将来にわたって持続可能なスポーツ・文化芸術活動の実現をめざします。

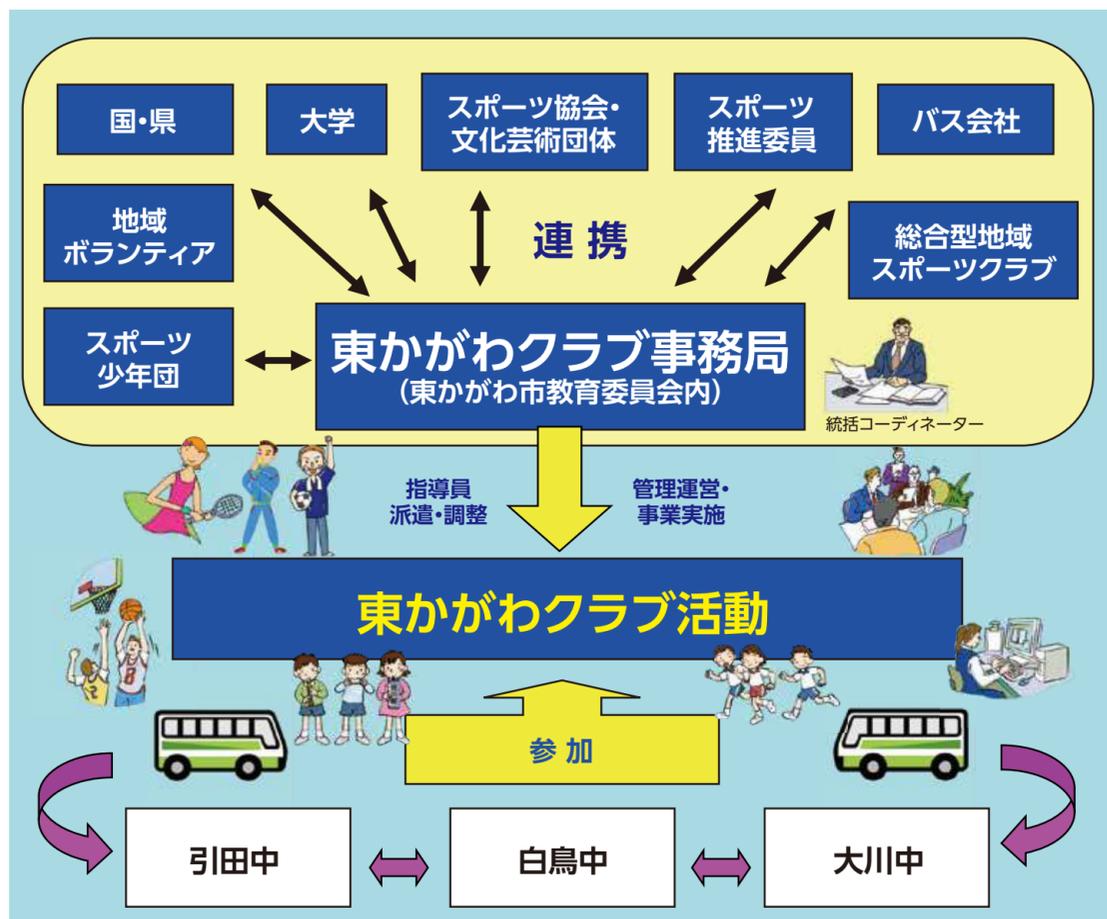
活動に係る経費については、基本的に受益者（保護者）負担となり、指導員への謝金や個人の保険代など、参加者からの会費を基にクラブを運営していくこととなります。入退会は任意であり、参加・不参加によって学校生活で不利になることはありません。

中学校体育連盟や吹奏楽連盟等が主催する大会・コンクール、またその他の大会・コンクールにも、東かがわクラブとして参加が可能です。



【剣道クラブ体験教室】

【東かがわクラブ組織図】



コンプライアンスの徹底 — 東かがわクラブの運営方針 —

◇ 暴言暴力・ハラスメントを根絶します

◇ 秘密を守ります

◇ 個人情報の取扱いに注意します

『東かがわクラブ』は、学校部活動が培ってきた教育的意義や役割を継承発展させ、新しい価値を創出するとともに、学校・保護者・地域が連携のもと、スポーツ・文化芸術活動による教育的機能を高めることを目的としています。

「子どもたちを導く」という責任ある立場の指導員やクラブ関係者には、使命感とともに高い倫理観、法令遵守が求められます。東かがわクラブ設置規則並びに指導員設置要綱、加えてスポーツ庁・文化庁・各競技団体の掲げるガイドライン・指導の手引きに則り、生徒一人一人を健全に育成するために、個々の良さを見出し、温もりのある眼差しで指導することを大切に考えます。

◇ アンケート調査による自主点検と運営改善を図ります

休日の活動が移行完了した種目や移行準備期間の種目など、随時、生徒を対象としたアンケートを実施し、活動・運営の点検をするとともに、改善に生かします。

また、必要に応じて、保護者や指導員からも意見聴取を行い、指導の充実や運営改善に生かします。



【教育振興審議会での報告】



【クラブ保護者総会】

よくある質問？

Q 学校部活動の「地域移行」と「地域展開」の違いは何でしょうか。

A これまでは、国の方針により「地域移行」という言葉が使われてきましたが、「移行」という言葉には、どうしても「あずけてしまう」とか「放り出す」というニュアンスが漂っています。東かがわ市においては、その地域性から、部活動を地域にそのまま「移していく」ことは難しいと考えています。そこで、まずは「学校に軸を置いて地域や家庭と連携する」という方向で改革を進めています。「合同部活動方式」や「拠点校方式」を導入したり、「クラブイベント」を開催したりすることはその段階的な手立てです。このことから、本市の取組みは「地域移行」よりも「地域展開」という表現の方がふさわしいと考えています。

Q 平日と休日で指導者が変わると、指導方針などが異なり、子どもたちは混乱しないでしょうか。

A 学校と東かがわクラブが緊密に連携し、指導方針や生徒に関する情報等を指導者間で共有します。また、学校生活に配慮した活動となるよう、種目ごとの活動内容や大会参加状況等をクラブが把握し、ガイドラインに則った活動となるよう、適宜指導助言を行います。

Q 地域クラブ活動として活動するようになると、学校部活動のような達成感や仲間との一体感など、貴重な経験をする機会がなくなってしまうのではないのでしょうか。

A 東かがわクラブでの活動において、学校部活動の教育的意義や役割を継承・発展させ、新しい価値を創出できるように、学校教育関係者等と連携を図り、発達段階やニーズに応じた多様な活動ができるよう進めていきます。

Q 活動中に生徒が事故にあたりけがをしたりした際、どう対応するのでしょうか。

A 学校の管理下で行われる学校部活動での事故等の場合は、学校及び所管の教育委員会が対応します。東かがわクラブ活動での事故等の場合は、原則としてクラブ指導員・クラブ事務局（市教育委員会内）が対応します。日常の活動から安全管理体制を整え、生徒の心身の健康管理、事故防止の徹底を図ります。

Q 3校の合同による活動は生徒の移動が伴い、学校単位の活動と比較して、移動する生徒の活動時間が短くなるのではないのでしょうか。

A 目的に応じた効果的な活動を継続するには、活動場所への移動が必須となります。現在、活動に伴う移動はスクールバスの有効利用を充てており、安心安全な移動手段である一方、移動に伴う時間が割かれることで、時季によっては十分な活動時間が確保できないという意見もあります。そこで、市立小中学校の理解と協力を得て、日課・時程を工夫し、平日の放課後に、中学生の活動時間を確保する試みを行っています。また、平日休日ともに、活動時間に合わせたバス配車が可能となるよう、運行計画の整備に努めています。



【活動における指導員の複数配置】



【スクールバスでの移動支援】